

第4回委員会	
資料2	H28. 3. 25

数値目標の設定について

1. ごみ量の現状予測における国、県の目標の達成状況

現状施策を継続した場合のごみ量予測（トレンド推計）を行い、国、県の目標値に対する宮代町の目標達成状況を整理した結果を表1に示します。

- ①国の目標「廃棄物処理法に基づく基本的な方針」については、ごみ総排出量の目標が達成できず、そのほかの指標については達成できる見通しです。
- ②国の目標「第三次循環型社会形成推進基本計画」については、最終処分量が目標を達成していますが、そのほかの指標については目標を達成できない見通しです。
- ③埼玉県目標については、事業系ごみ排出量が目標をできず、その他の指標については目標値を達成できる見通しです。

こうしたことから数値目標を達成するためには、より一層ごみ排出量の削減を図る必要があります。

表1 国、県の目標の達成状況（宮代町）

国、県の目標			宮代町の実績・目標・予測								
国・県の目標根拠	目標項目	単位	基準年度 (実績値)		目標年度(H32)					直近年 H26 実績値	
					目標 内容	目標値	予測値	達成 有無	削減 必要量		
国の目標	① 基本的な方針	ごみ総排出量	t	H24	10,275	H24年度比 12%削減	9,042	10,341	×	1,299	10,215
		1人1日当たりの家庭系ごみ量※1	g/人/日	H24	414	500 g/人/日	500	418	○	-	417
		リサイクル率	%	H24	39.9%	27%	27.0%	42.2%	○	-	42.3%
		最終処分量	t	H24	529	H24年度比 14%削減	455	162	○	-	160
	② 循環型社会基本計画	1人1日当たりのごみ排出量※2	g/人/日	H12	937	H12年度比 25%削減	703	852	×	149	842
		1人1日当たり家庭から排出するごみ量※1	g/人/日	H12	497	H12年度比 25%削減	373	418	×	45	417
		事業所から排出されるごみ量※3	t	H12	1,240	H12年度比 35%削減	806	1,789	×	983	1,688
		最終処分量	t	H12	1,191	H12年度比 70%削減	357	162	○	-	160
県の目標	本③ 計画第8次策定(玉中基)	1人1日当たりの家庭系ごみ排出量※1	g/人/日	H25	419	503 g/人/日	503	418	○	-	417
		事業系ごみ排出量	t	H25	1,657	H25年度比 10.1%削減	1,490	1,789	×	299	1,688
		1人1日当たりの最終処分量	g/人/日	H25	16	44 g/人/日	44	13	○	-	13

○: 目標を達成している。×: 目標を達成していない。

※1 集団回収量、資源等を除く。

※2 計画収集量、直接搬入量、集団回収を加えた事業系を含む一般廃棄物量。

※3 事業系ごみの総量。

2. 新たなごみ減量化、資源化施策例について

目標を達成するために重点的に取り組むべき施策例について次に示します。

(1) 家庭系ごみについて

① ごみの有料化の検討

平成 32 年度までに家庭系ごみの有料化を実施することで、家庭系ごみ中の燃やせるごみ、燃やせないごみの 10% を削減する場合のごみ削減量は以下のとおりです。

燃やせるごみ削減量：467 t

燃やせないごみ削減量：29t

家庭系一般廃棄物の排出量単純比例型における手数料の料金水準に関する分布の調査結果を図 3-2-1 に示す。

大袋 1 枚 20 円台、30 円台、40 円台、50 円台の自治体が 40 件以上と多い。また、30 円台をピークに、手数料が高くなるほど件数は減少する傾向となっている。

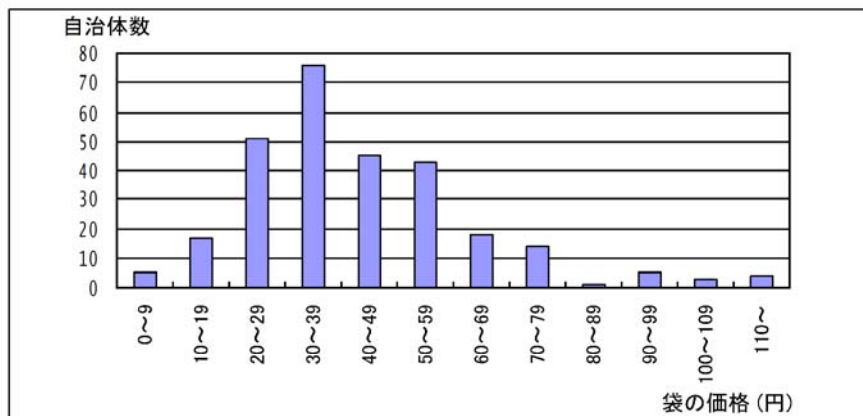


図 3-2-1 家庭系一般廃棄物排出量単純比例型における料金水準分布 (大袋 (40~45L) 1 枚あたりの価格)

家庭系一般廃棄物の有料化を導入している市町村について、可燃ごみを排出する際の手数料の料金水準と平均排出抑制率 (各手数料水準区分に該当する市町村の排出抑制率の平均) との関係を図 3-2-5 に示す。平均排出抑制率から考察すると、料金水準が高くなるほど、排出抑制効果も高くなる傾向が見られた。

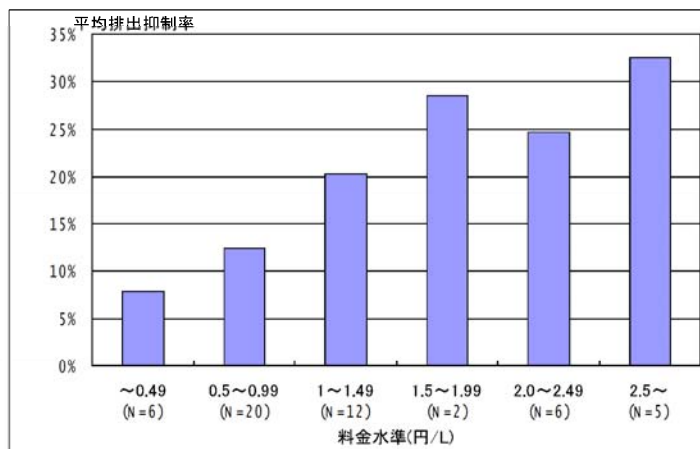


図 3-2-5 可燃ごみの料金水準と平均排出抑制率

出典：環境省 一般廃棄物処理有料化の手引き

② 生ごみの水切りやエコクッキングの普及

燃やせるごみ中の生ごみの含有量は約 40% であり、生ごみの水切りとエコクッキングを実施することで、生ごみ中の 5% を削減する場合の削減量は以下のとおりです。

$$\text{ごみ削減量} = 4,669\text{t} \times 40\% \times 5\% = 93\text{t/年}$$

【重量の目安】	
かぼちゃ (M) : 1,300g	スイカ (M) : 5,000g
キャベツ (M) : 1,200g	りんご (M) : 280g
大根 (M) : 850g	オレンジ : 200g
たまねぎ (M) : 200g	アボカド : 220g
きゅうり (M) : 82g	バナナ (M) : 200g
ごぼう (M) : 200g	みかん (M) : 100g
食パン (6枚) : 60g	巨峰 : 10g
おにぎり : 100g	イチゴ (M) : 25g

出典：子どもの食事研究所ホームページ

水切りに関する先進事例

(水切りネットの配布)

調布市内のスーパーマーケット 14 店舗にて、ごみ減量啓発用「水切りネット」を配布し、ごみ減量キャンペーンを実施しました。

(実施期間：平成 26 年 11 月 10 日から 18 日までの 7 日間)



出典：調布市ホームページ

(水切りネット^わ輪〜ク)

水切りネットを使用し、水を切る前後のごみの重さを測ることで減量効果を把握するとともに、「水切りネット^わ輪〜ク」への参加団体を増やすことで、水切りネットの普及に取り組むことを目的としています。市内自治会の協力により、水切りネット使用による生ごみ減量効果について調査を行っています。



出典：調布市ホームページ

エコクッキングに関する先進事例

(おいしい大分～わが家のエコ料理コンテスト)

食材を無駄なく有効に活用し、光熱水等のエネルギー消費を抑えた環境に優しいエコ料理のレシピを募集しました。



エコのポイント

- ・シリコン製のタジン鍋を使い電子レンジで加熱することで時間、熱の節約
- ・野菜の皮を捨てずに使うことで無駄を減らす
- ・炊き込みご飯に「なめたけ」、「ツナ缶」を使うことで味の調節が簡単にできる

出典：大分市ホームページ

③ マイボトル、マイ箸、食器等再使用できる容器、食器の利用促進

平成 32 年度までに 1 人当たり年間 200g 減少し、新たに実施する方は 5,000 人にする場合のごみ削減量は以下のとおりです。

$$\text{ごみ削減量} = 200\text{g/年} \times 5,000 \text{ 人} = 1 \text{ t /年}$$

※：紙コップ 1 枚の重量は約 5g

リユース食器等に関する先進事例

(イベント用リユース食器・容器を貸し出します)

できるだけごみを出さないイベントの実現のために、洗って繰り返し使えるイベント用リユース食器・容器を小平市ごみ減量推進実行委員会で無料にて貸し出しています。

子ども会など地域で開催するイベントでご利用ください。また、食器を持参して参加するようなイベントも計画してみてもはいかがでしょうか。



出典：東京都小平市ホームページ

④ シャンプー、洗剤等における詰め替え品の購入をすることによるプラスチック類の削減

平成 32 年度までに 1 人当たり年間 100g 減少し、新たに実施する方は 5,000 人にする場合のごみ削減量は以下のとおりです。

$$\text{ごみ削減量} = 100\text{g/年} \times 5,000 \text{ 人} = 0.5 \text{ t /年}$$

シャンプー、洗剤等における詰め替え品の購入をすることによるプラスチック類の削減。(町民)



詰め替え容器重量は本品容器重量に比べ単位容量あたり 85%削減

	⇒	
76.5g(400ml)		9.7g(340ml)

出典：プラスチック容器包装削減事例集 日本石鹼洗剤工業会

製造業者による容器包装の軽量化による資源物の削減。(事業者)

キャップとアクチュエーターが別々の構造であったものを一体型の構造に変更することで、容器重量を削減した。

	⇒	
7.2g		4.8g

出典：プラスチック容器包装削減事例集 日本石鹼洗剤工業会

⑤ スーパーでの発泡スチロール容器の回収による資源物回収量の削減

平成 32 年度までに 1 人当たり年間 100g 減少し、新たに実施する方は 5,000 人にする場合のごみ削減量は以下のとおりです。

$$\text{ごみ削減量} = 100\text{g} \times 5,000 \text{ 人} = 0.5\text{t/年}$$

※：トレイ（PSP）1 個の重量は 3.3g（出典：発泡スチレンシート工業会により）

(2) 事業系ごみ対策について

先進的な都市の事例から、事業系ごみ排出量の削減が期待できる取組みについて次に示します。

① 燃やせるごみ中の資源ごみ（紙類、生ごみ）の搬入規制の強化

事業系ごみは一般的に紙類と生ごみが大半を占めており、排出量が多い種類のごみに対して重点的に対策を講じていく必要があります。

紙類については、町の紙類資源化ルートを活用するなどして、事業者が直接資源回収業者に紙類を引き取ってもらうルートの構築を促進します。

生ごみについては食品廃棄物リサイクル法の主旨に準拠し、事業者が自ら資源化する取組み促進します。

また事業者に対して訪問指導や直接指導を行うなどして意識啓発を図ります。

② ごみ搬入物検査の頻度を増加

組合ではごみの搬入物検査を実施していますが、実施回数を増やしたり、ごみの中に資源物が大量に含まれている場合にはごみの持ち帰り及び資源物の分別を指導し、処理施設への資源物の搬入を抑制します。

③ 事業系ごみ資源化ルートの構築

搬入規制、搬入物検査を強化する一方で、資源回収業者の紹介や資源化事業者を誘致する等、事業者のための資源化ルートの構築を促進します。

こうした取り組みにより、平成 32 年度までに燃やせるごみの 10%を削減します。

ごみ削減量：147t/年

3. ごみ削減必要量と目標達成見通し

数値目標を達成するために必要となるごみ削減量とこれまでに示した取組みを実施した場合の現状施策を継続した場合のごみ減量化見通しを次に示します。

表2 国、県の目標値を達成するための削減必要量

国、県の目標	家庭系ごみ排出量		事業系ごみ排出量
	ごみ量	資源物	
①国の目標 (廃棄物処理法に基づく基本的な方針)	1,299t/年		
②国の目標 (第三次循環型社会形成推進基本計画)	45g/人/日 (546t/年)	—	983t/年
	149g/人/日 (1,808t/年)		
③県の目標	—	—	299t/年

表3 施策によるごみ減量化見通し

対象品目			施策	削減見込み
家庭系ごみ	可燃	燃やせるごみ全体	有料化	467t
			生ごみの水切りやエコクッキングの普及	93t
			マイボトル、マイ箸、食器等再使用できる容器、食器の利用促進	1t
	不燃	不燃ごみ全体	有料化	29t
			容器包装プラスチック	0.5t
	資源	スーパーでの発泡スチロール容器の回収による資源物回収量の削減	0.5t	
事業系ごみ			<ul style="list-style-type: none"> 燃やせるごみ中の資源ごみ(紙類、生ごみ)の搬入規制の強化 ごみ搬入物検査の頻度を増加 事業系ごみ資源化ルートの構築 	147t
合計				738t

4. 宮代町一般廃棄物処理基本計画における数値目標の達成状況

表3に示した施策を全部実施した場合の国、県の目標達成見通しを表4に示します。表3の施策を全部実施しても国、県の目標をいずれも達成できず、国、県の目標を達成するには、更なるの減量化施策を追加することが必要と考えます。

※個々に示す目標値は国、県の目標年度に合わせて平成32年度の値を示しています。

表4 国、県の目標達成見通し（宮代町）

国、県の目標			宮代町の実績・目標・予測								
国・県の目標根拠	目標項目	単位	基準年度 (実績値)		目標年度(H32)					直近年 H26 実績値	
					目標内容	目標値	予測値	達成有無	削減必要量		
国の目標	① 基本的な方針	ごみ総排出量	t	H24	10,275	H24年度比 12%削減	9,042	9,603	×	561	10,215
		1人1日当たりの家庭系ごみ量※1	g/人/日	H24	414	500 g/人/日	500	369	○	-	417
		リサイクル率	%	H24	39.9%	27%	27.0%	44.4%	○	-	42.3%
		最終処分量	t	H24	529	H24年度比 14%削減	455	150	○	-	160
	② 循環型社会基本計画	1人1日当たりのごみ排出量※2	g/人/日	H12	937	H12年度比 25%削減	703	791	×	88	842
		1人1日当たり家庭から排出するごみ量※1	g/人/日	H12	497	H12年度比 25%削減	373	369	○	-	417
		事業所から排出されるごみ量※3	t	H12	1,240	H12年度比 35%削減	806	1,642	×	836	1,688
		最終処分量	t	H12	1,191	H12年度比 70%削減	357	150	○	-	160
県の目標	本計第8 （次埼定玉中県）基	1人1日当たりの家庭系ごみ排出量※1	g/人/日	H25	419	503 g/人/日	503	369	○	-	417
		事業系ごみ排出量	t	H25	1,657	H25年度比 10.1%削減	1,490	1,642	×	152	1,688
	1人1日当たりの最終処分量	g/人/日	H25	16	44 g/人/日	44	12	○	-	13	

○: 目標を達成している。×: 目標を達成していない。

※1 集団回収量、資源等を除く。

※2 計画収集量、直接搬入量、集団回収を加えた事業系を含む一般廃棄物量。

※3 事業系ごみの総量。